

平成 25 年度 財政援助団体等監査結果報告書

第 1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づく財政援助団体監査

2 監査の対象

団体 公益社団法人 羽村市シルバー人材センター
所管課 福祉健康部高齢福祉介護課

3 監査の範囲

平成 24 年度及び平成 25 年 4 月 1 日から 9 月 30 日までに交付された助成金に係る出納その他の事務の執行状況

4 監査の期間

平成 25 年 10 月 11 日から平成 26 年 1 月 31 日まで
説明聴取日 平成 25 年 11 月 12 日

5 監査の主眼

(1) 所管課

- ア 助成金の決定は、要綱、予算等に適合しているか。
- イ 助成金の支出手続は、条例、規則、要綱等に従い行われているか。
- ウ 団体への指導監督は適切に行われているか。

(2) 財政援助団体

- ア 補助事業等は目的、交付条件に沿って適正に執行されているか。
- イ 助成金の管理運用、会計処理及び財産の管理は適正に行われているか。
- ウ 出納関係諸帳簿の整備、記帳は適正に行われているか。

6 監査の方法

監査にあたっては、「5 監査の主眼」を主な観点として、書類審査、質問調査等、通常実施すべき監査手続により実施した。

第2 監査の結果

1 団体の概要

- (1) 名称 公益社団法人 羽村市シルバー人材センター
- (2) 所在地 羽村市羽東二丁目3番1号
- (3) 設立 昭和56年4月15日 羽村町高齢者事業団として設立
昭和57年11月1日 社団法人シルバー人材センター羽村町高齢者事業団として法人認可
平成2年7月2日 社団法人羽村町シルバー人材センターに名称変更
平成3年11月1日 社団法人羽村市シルバー人材センターに名称変更(平成3年11月1日市制施行)
平成23年4月1日 公益社団法人羽村市シルバー人材センターに名称変更
- (4) 目的 公益社団法人羽村市シルバー人材センターは、社会参加の意欲のある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。
- (5) 事業内容
- ア 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための就業の機会確保及び提供
 - イ 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
 - ウ 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業
 - エ 前条の目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営
 - オ その他センターの目的を達成するために必要な事業
- (6) 組織
- ア 役員構成 17人 (平成25年9月30日現在)
- | | | | | | |
|----|-----|-----|----|------|----|
| 会長 | 1人 | 副会長 | 1人 | 常務理事 | 1人 |
| 理事 | 12人 | 監事 | 2人 | | |
- イ 職員体制 8人 (平成25年9月30日現在)
〔職員4人、嘱託職員2人、臨時職員2人(交代制)〕

ウ 会 員

	平成 24 年度末	平成 25 年度 9 月末	比較
男 性	477 人	476 人	Δ1 人
女 性	270 人	269 人	Δ1 人
計	747 人	745 人	Δ2 人

2 財政援助の状況

(1) 平成 24 年度及び 25 年度の助成金内容及び交付状況

名称	公益社団法人 羽村市シルバー人材センター運営費助成金					
根拠	① 公益社団法人 羽村市シルバー人材センター運営費助成要綱 ② 羽村市補助金等交付規則					
交付対象経費	① 人件費（職員基本給、職員特別給与、法定福利費、職員諸手当他） ② 管理運営費（臨時雇賃金、賃借料、委託料、光熱水料費、通信運搬費、消耗品費）					
交付年度	平成 24 年度分		平成 25 年度分			
交付申請日	平成 24 年 4 月 1 日		平成 25 年 4 月 1 日			
概算交付決定日	平成 24 年 4 月 13 日		平成 25 年 4 月 12 日			
概算交付決定額	27,015,000 円		27,983,000 円			
交付状況	第 1 回	4,851,000 円	5 月 9 日	4,985,000 円	5 月 14 日	
	第 2 回	8,930,000 円	6 月 14 日	9,273,000 円	6 月 11 日	
	第 3 回	7,679,000 円	10 月 9 日	/		
	第 4 回	5,555,000 円	1 月 21 日			
交付総額	27,015,000 円					
支出済額	24,853,182 円					
精算金額	2,161,818 円					
精算書提出日	平成 25 年 4 月 26 日					
精算金返還日	平成 25 年 5 月 21 日					

公益社団法人羽村市シルバー人材センター運営費助成金は、高齢者に社会参加の機会を与え、それぞれが生きがいのある生活と福祉の増進に寄与することを目的として、予算の定めるところにより運営費の一部を助成しており、交付状況は上記の表のとおりである。

平成 24 年度の助成金は、羽村市シルバー人材センターから提出された交付申請書に基づき、助成金額 2,701 万 5,000 円が概算交付決定された。平成 24 年 5,6,10 月と平成 25 年 1 月の 4 回に分けて総額 2,701 万 5,000 円が交付されたが、平成 25 年 4 月 26 日に提出された精算書により助成金支出済額（必要額）は、2,485 万 3,182 円となり、交付総額との差額 216 万 1,818 円が市に返還されている。

平成 25 年度についても、同様な手続きにより助成金額 2,798 万 3,000 円が概算交付決定されており、平成 25 年度第 1,2 回分までの 1,425 万 8,000

円が平成 25 年 6 月 11 日までに交付されている。

助成事業に対する所管課の指導監督については、羽村市シルバー人材センターからの交付申請書及び実績報告書に基づく内容審査や打ち合わせ等により適正に行われているものと認められた。

3 事業実績

(1) 助成金に関する事業の執行状況

(単位：円)

区 分	H24 年度		H25 年度 (4～9 月)		内 容
	助成金額	支出金額	助成金額 (概算交付)	支出金額	
人件費	20,517,182	25,281,182	11,462,212	12,709,212	職員人件費 H24：職員 4 人、嘱託職員 2 人 H25：職員 4 人、嘱託職員 2 人
管理運営費	4,336,000	16,841,372	2,795,788	8,799,358	臨時雇賃金 H24：2 人、H25：2 人 賃借料、委託料、光熱水料費等
安全・適正・就業創出費	0	304,947,441	0	150,284,212	
合 計	24,853,182	347,069,995	14,258,000	171,792,782	

平成 24、25 年度の助成金に関する決算の概要は、上記の表のとおりである。

また、主な事業内容は下記のとおりであり、平成 24 年度及び平成 25 年度上期における事業は、当初の予定どおり執行されている。

(2) 事業の実施状況

① 就業の開拓及び提供（主な事業実績は【第 1 表】に示すとおり）

- ・就業の開拓 … 官公署との連絡会、民間事業所への訪問、一般家庭や事業所等への各種教室チラシ配布や市内保育園への随時訪問等
- ・就業の提供 … シルバー人材センターロビーでのパネル掲示、広報紙「シルバーだより」への掲載
- ・ワークシェアリングの推進 … 様々な業務ごとの短時間労働を組み合わせることによって、多くの会員に雇用機会を増やす。

② 研修会・講習会の実施

- ・会員の資質向上や技能を高める … シルバー人材センターによる技能研修、東京しごと財団が行う実践セミナー、第 6 ブロックシルバー人材センターが実施する研修への参加

③ 生きがいの充実・社会参加の推進

- ・ボランティア活動の実施 … 公園等の清掃ボランティア事業の参加、羽村市放課後子ども教室へのボランティア登録。平成 25 年度から朝の登校時の見守り等。

④ 就業に関する調査・研究・相談

- ・調査・研究の実施 … 就業実績や就業状況の把握、受注拡大に向けての改善点等の分析や調査等（東京しごと財団、第6ブロックシルバー人材センター等による各種の調査・アンケート）や、個人発注者向けの「満足度調査」等
- ・高齢者の就業に関する相談 … 就業に関する各種資料の整備や、発注者の要望、会員の入会相談等への対応

⑤ その他の事業

- ・安全・適正就業対策の推進 … 毎月の安全目標や強化日、強化月間の設定とともにシルバー人材センター内への掲示及び就業現場視察の実施
- ・女性部会 …… シルバー人材センターPRのため各種イベントへの参加、広報紙「女性部だより」の発行、各種講座の開催や羽村駅西口パトロールセンターでの手芸品販売等
- ・普及宣伝活動の推進 … 広報紙「シルバーだより」、「女性部だより」の全戸配布や、「広報はむら」等へのシルバー人材センター入会説明会の掲載及び、イベントへの参加、ホームページの充実等
- ・仕事別グループの活性化…平成26年度からの実施にむけて、協議中である。
(1回500円で、お手伝いをする)

【第1表】就業の開拓及び提供に関する主な事業実績

区 分	平成24年度	平成25年度(4~9月)
会 員 数	747人 (25年3月末)	745人 (25年9月末)
年間受託件数	4,954件	2,492件
就業延実人員	17,099人	8,712人
就業延日人員	82,724人	42,149人
契 約 金	315,846,101円	153,638,186円
会 員 配 分 金	289,760,194円	141,797,964円
公 民 費	35.5 : 64.5	36.9 : 63.1
就 業 実 人 員	656人	601人
就 業 率	87.8 %	80.7 %

4 総 括

監査の結果、シルバー人材センターにおける助成金の管理運用、会計経理、助成事業は、関係法令に基づき適正に行われていると認められた。また、所管課における助成金の交付事務は、関係法令に基づき適正に執行されていると認められた。

なお、監査における個別の意見等は、次頁のとおりである。

○ シルバー人材センターの取り組み

羽村市の高齢者は健康な方が多く、そのため、介護保険料は都内で安い方から 2 番目で、医療費は 75 歳以上の一人当たりが、26 市の中で安い方から 5 番目であり、今問題となっている社会保障費の抑制にも大きく寄与している。また、その方たちのシルバー人材センターへの入会率も他市に比べて高く、4.7%で高い方から 6 番目であり、就業することにより、健康を維持し、生きがいを感じている方も多く、このことも医療や介護を抑制しているものと考えられる。入会者のアンケート調査でも、「生きがいを得られた」が 88%、「収入を得られた」に 55%の方が回答しており、シルバー人材センターが、健康の維持や生きがい、生活の満足感にとっても効果があるものと考えられる。

今後も、引き続きシルバー人材センターの目的である「生活感の充実及び福祉の増進」が達成されるよう、会員の拡充や運営の効率化、就業開拓に取り組んで欲しい。そして、これがいろいろな活動にプラスになり、生きがいやストレスの解消につながるように努められたい。

○ 時代の要求にあった就業

景気の低迷により大企業が撤退するなど、厳しい経営環境が続く中で、平成 25 年度途中ではあるが、契約金額は、前年度の同時期と比較して（平成 25 年 9 月現在）500 万円ほど落ち込んでいる状況である。そのような情勢の中で、センターの目標である会員を拡充するためには、現在は、加入者からの要望でもある就業のメニューを増やす事も大きな課題となっている。

今後は、高齢者世帯、子育て世帯の家事支援や子育て支援など、地域の中でちょっと困ったことの手助けを行う事業などもニーズが高まっていることから、こうしたニーズにも新しい視点からいろいろな方策をもって対応できるよう就業開拓の強化を図られ、仕事のない高齢者の方にも仕事をして生きがいを感じてもらえるよう努められたい。

なお、社会奉仕の活動として、「朝の登校時の見守り」を始めたことは、評価するところである。

○ 高齢者の生きがいづくりと地域社会の活性化に向けて

少子高齢化が進んでいく中で、社会経済の活力を維持していくためには、元気な高齢者が社会の中で活躍することが必要であり、その調整をするシルバー人材センターの役割はますます重要になってきている。

シルバー人材センターは、これまでも述べてきたように、高齢者の知識と経験等を生かした仕事や、地域貢献する場を提供することで、生きがいづくりや、地域社会の活性化を目的とする事業を推進してきたが、今後、更に高齢者人口が増加することを踏まえると、より一層の充実・発展を考えていく必要がある。

このためには、シルバー人材センターの会員数の増強とその就業の場を拡大することが必要であり、会員の要望する職種とシルバー人材センターの用意する職種を合わせるためにも情報交換を積極的に実施し、今後も継続して、就業を通じた生きがいづくりを目標に努力され、たくさんの市民に喜ばれることを期待する。

○ 経理のシステムについて

東京都内のシルバー人材センターは、58 施設あるが、経理システムを東京都で統一して管理してはどうか。それぞれの団体にシステムを維持・開発するより、統一されたシステムの方が、維持管理の経費や補助金の残高照会等に有効だと考える。